

令和7(2025)年度 第4回こども会議 (市長・教育長への報告会、意見交換会)

1 活動概要

令和7(2025)年10月27日(月) みよし市役所2階 201会議室

参加者 小学生～高校生9人 大学生サポーター3人

2 会議の流れ

市長・教育長への提案

Aグループ「SNSやゲームとの関わり方について考えたい」

Bグループ「学校で平和学習の機会を作ってほしい」

市長・教育長からの講評

意見交換会

写真撮影

3 当日の様子



あえて狭い部屋を会場にして、市長・教育長と近くで話ができるようにしました。

市長や教育長を目の前にすると、みんなこれまでにない緊張感です。

市長から「皆さんの意見を遠慮せずに伝えてください。」と声をかけてもらい、勇気が出ました。

Aグループの提案「SNSやゲームとの関わり方について考えたい」

「学校でSNSのなりすましが起きて悲しい思いをしている人がいるから」という身近な人に対する思いやりからの提案です。
まだスマホを持っていない小学生も学校のタブレットの使い方などについて意見を出しました。
ポスターやパンフレットの配付、公共施設に相談窓口を設置する、先生がマナーを身につける、などの提案をしました。
提案内容をまとめる過程で自分たちが心配に思ったことなども丁寧に伝えました。



Bグループの提案「学校で平和学習の機会を作ってほしい」

みよし市中学生平和学習広島派遣事業に参加して、平和学習の大切さを感じたことがきっかけの提案です。

提案者の思いが小学生に伝わり、自分たちにもできる平和学習があるのではないかとテーマに選びました。

学年ごとに取り組む内容に違いをつけること、授業のまとめを学校行事の中で発表することなどの提案をしました。

資料館の見学や経験者の話を聞くなどの体験学習がしたいこと、戦争の話が苦手な人への配慮もよく話し合って決めました。



市長・教育長からの講評

市長

Aグループ

SNS対策は重要だと考えています。相談窓口を設置する自治体は増えているが、利用実績が少ないことが課題。みよし市で設置する場合も、参加者のみなさんが捉えている課題感（秘匿性・相談相手）の解消が大切。来年度以降、教育長とも相談しながら検討していきます。

Bグループ

平和学習は重要と考えています。みよし市が皆さんに伝えたいと考えていた内容を、皆さんから提案してもらった。授業の中で体験してもらうこと、それを自分の中で留めず、みんなが周囲の人たちに広めていただくことが大切。こちらでも来年度以降、教育長と相談しながら検討していきます。

教育長

Aグループ

SNS対策は、保護者も心配しています。昨年度、教育長からの9つの提言として、全中学校の保護者懇願会で教員から保護者に「これだけは実行してもらいたいこと」として伝えてもらいました。今年度も4月にきずなネットで再度依頼しています。これからも引き続き取り組みを行っていきます。

Bグループ

平和学習も含めて、みんながやりたいことを学校で提案してください。発表があったもの以外も含めた全員の提案シートを校長先生に伝えて、学校でできることは実現するように伝えます。できるかどうかの回答もします。学校を越えた交流は、中部小のくすのきルームのような活動が全校で実施できるように考えています。

意見交換会

発言者	発言内容
中学生	広島派遣事業で実施した折り鶴プロジェクトでは、千羽鶴を持っていくことが相手方の負担にならないかを心配する人がいるので、広島派遣の際に現地で質問した。焼却処分することなく再生紙として賞状などに活用される。持ってきてもらえるのはとても嬉しい。ということだった。
教育長	昨年度は4つ持っていき、大変喜ばれた。小学生もぜひ声を上げて、学校で取り組んでほしい。
市長	広島県内の市長に聞いたら、市長の名刺としてリサイクルしている。自分の名刺を作成するときやみよし市で平和学習に取り組むときに再生紙を利用するなどの方法はある。
教育長	公園の利用について提案があったが、その想いを教えてほしい。
高校生	みよし市には公園がたくさんあるのに利用者が少なくてもったいないと感じたので、より良くするとか利用していないところはつぶすなどすると思った。
教育長	人口対比すると、みよし市は他市と比べて公園の数がとても多い。遊具とかほしいよね？
市長	ある公園でシーソーが壊れたときにその公園で遊ぶこどもに「すぐに新しいシーソーを設置するね。」と話しかけたら、「遊んでいないからシーソーなんか要らない。」と言われた。別の公園では、インクルーシブ遊具を導入したらすごく人気になった。行政だけで考えてはいけない典型例。みなさんの声で変えていきたい。何か意見はありますか？
小学生	公園でサッカーやドッチボールがしたい。
市長	私も公園でボール遊びができるようにしたい。ネットを設置するなどの環境整備と、利用者もルールを守ることができれば実現できるはず。

発言者	発言内容
小学生	士別市派遣に参加して、交流事業の重要性を感じた。費用面などもあるのは分かるがオンラインなどやり方を考えて継続してほしい。
教育長	士別市派遣は、相手方の児童数が減って受入体制が整わなくなって辞めることになった。今後は士別市に限らず、くすのきルームを使った交流ができると思うから提案してみてください。
大学生	夜の公園は治安が悪くならないか心配。同時にヤンキーと呼ばれるようなこどもたちの相談を聞いたり、福祉につなげるような取組があるといいのではないかな。
大学生	サンライブの自習室を高校生まではよく利用していたが、大学生になってパソコンでの学習が増えると狭いし、パソコンを利用している人がいないので利用しづらくなった。広めの机やパソコン利用の人だけのスペースが作れないか検討してほしい。
教育長	貴重な意見をありがとう。先日みなよし交流センターがオープンしたが、コンセントがなく不便だと意見をもらって修正する例もあるので遠慮せずに教えてほしい。
小学生	学校のタブレットでGoogleのAIモードがある日突然使えなくなった。とても便利だったのでまた使えるようにしてほしい。
教育長	文科省から、小学生は生成A Iの利用対象年齢外と通知が来た。中学生の利用状況を見たら不適切な利用をしている生徒がいたので、年度の途中にブロックした。
市長	あなたは生成A Iをどのように活用していたのか？
小学生	物理の複雑な計算をさせていた。理論の実証などができて便利だった。
教育長	その複雑な計算が合っているのかを判断できないと正しく利用できているとは言えないと思う。そういう点で小学生は利用対象年齢外とされている。安全に利用できるよう環境を整える準備をしている。



意見交換会では、自分の生活や体験に基づくみよし市に対する想いを率直に話し合いました。

提案した事業に対しても、意見交換会で発言したことに対しても、市長と教育長が話を真剣に聞き、実現する方法を一緒に考えてもらえる姿勢が参加者に強く印象に残りました。

次年度以降も継続して開催していきます。

